



114  
A 2229



大正十一年四月  
限候郵寄贈

梨縣下産出ノ三俣白皮ヲ同縣下第十八區殖産社  
ヨリ東京紙幣寮調度課ニ賣上ル莫ヲ締約シ調度課  
ト殖産社ノ間ニ於テ遵守履行スル條款左ノ如シ

第一條

一 紙幣寮調度課ニ需用ノ三ツ俣ハ抄紙原貨ニ適當ス  
ル上等ノ品種ヲ精製シタル白皮ニ限ル可シ

第二條

一 毎年十一月中殖産社ニ於テハ山梨縣下第十六十八  
十九廿區中ニ生産シタル三ツ俣ヲ白皮ニ精製シ工  
中ノ品位ヲ區分シ夫々相当ノ代價ヲ付シ見本トシ  
テ東京紙幣寮ニ輸送ス可シ

第三條





一 三ツ俣見本紙幣寮ニ到達スレハ調度課ニ於テ審査  
 シ品位代價適當ナルハ年中所用ノ金額若干ヲ購  
 求ス可キ旨ヲ信書ヲ見本到達ノ日ヨリ廿日ノ内ニ  
 必殖産社ヘ送附ス可シ若シ品位代價等不適當ナル  
 ハ全ク購求ヲ止メ或ハ所用ノ幾分ヲ購求スル等  
 ノ旨ヲ詳細報知スルヲ前ニ同シ

第四條

一 前條ニ掲ル信各殖産社ニ到達スレハ該社ニ於テハ  
 其金額ノ内若干宛ヲ幾度ニ運送シ幾月限リ必皆納  
 スヘキ旨ノ請書ヲ紙幣寮ニ差出ス可シ  
 但シ請書ヲ差出シタル後送納ノ期日ヲ誤リ紙幣  
 寮ニ於テ工業ノ障碍トナルハ相当ノ償金ヲ殖  
 産社ヨリ徴収ス可シ

第五條

一 殖産社ヨリ差出シタル請書ヲ紙幣寮ニ入手ノ後九  
 廿日間ニハ該年購求スル三ツ俣金額ノ代價ヲ合計  
 シ其三分ノ一乃至二分ノ一ノ金負ヲ山梨縣廳ニ廻  
 附シ殖産社前借ノ用ニ充テ残余ノ金負ハ現品皆納  
 ノ上品數及ヒ代金手数料共合計精算シタル請取證  
 各ヲ殖産社ヨリ差出シタル後拂渡ス可シ  
 但金負廻送方ハ驛途寮ヲ經テ山梨縣廳ヘ廻金ス  
 ルヲ則トスト虽若シ廻金ニ付費用アルハ總テ  
 殖産社ニ於テ辦給スルヲ

第六條

一 殖産社手数料ハ白皮三ツ俣壹貫目ニ付金貳厘宛ト  
 定メ購求金額ノ量數ニ乘シタル金負ヲ前條ノ手續

ヲ以テ拂渡ス可シ

第七條

一 三ツ俣白皮晒揚ケ自ラ長短アルモ大約四尺ニ折組  
ニケ所ヲ結束シ六貫目ヲ壹個ト定メ夫々符号ヲ  
詳記シタル木扎ヲ挿ミ丁寧ニ荷造ヲナシ必個數  
量等記載シタル送状ヲ添テ運送ス可シ

第八條

一 三ツ俣運送運輸ノ都合ハ総テ殖産社ニ於テ幹旋  
紙幣寮へ到達迄ノ費用悉皆同社ニ於テ支給シ萬一  
海陸運搬ノ際危険ノ難ニ罹リ其他何様ノ事故アル  
比現品紙幣寮ニ到達セサル内ハ本寮ニ於テ一切開  
係セサル可シ

第九條

一 現品紙幣寮ニ到達スレハ最前備置キタル見本品並  
送状ニ照査シテ受取方ヲナシ本寮官負二名以上立  
會ノ上介量ヲ改メ現量受取ノ證書ヲ殖産社ニ廻附  
ス若シ最前ノ見本ニ相違ノ品位アル片ハ其俣預  
リ置キ直ニ通知スレハ殖産社ニ於テハ速ニ代品ヲ  
送納シ前ニ送リタル品ハ何分ノ處分ヲナス可シ尤  
右ノ場合ニ於テ萬一紙幣寮ノ物置充塞シテ預ケ置  
クヲ能ハサル片ハ市中ノ貸蔵ニ預ケ置テアルモ右  
ニ付ノ費用ハ一切殖産社ニ於テ辨償スルヲ勿論ト  
ス

但シ送納ノ品位見本ニ相違シ代品ヲ送納ノ際時  
日ヲ遷延シ紙幣寮ニ於テ工業上障害ヲ生ル片ハ  
相当ノ償金ヲ徴収スルヲ第四條但書ノ通りタル

大蔵省

可シ

第十條

一 約束ノ條々他日實際上不便ヲ生ル欵或ハ双方ノ都合ニ依リテハ更ニ協議シテ解約亦ハ條款ヲ改訂スルヲ有ル可シ

右ニ掲ル條々ヲ完約履行スル為ニ約條書貳冊ヲ作り紙幣寮調度課官印ヲ捺シ殖産社惣代近藤喜則并德教三澤保程望月浅右衛門ノ四名各捺印シテ双方ニ壹冊ヲ取置者也

紙幣寮

調度課

明治九年十二月廿日

山梨縣下殖産社惣代

第拾九區栄村

笠井德教

同 大河内村

望月浅右衛門

第拾八區睦合村

近藤喜則

同

三澤保程

